

項目	地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画事業実施計画（平成26年度）			質問内容 要望事項	担当課	回答
	ページ	番号	事業名			
1	11	25	ホームレスへの自立支援	就労支援について、就労自立者は数名の実績があるが、それが路上生活者の減少にはあまり繋がっていないと読み取ってよいか。	生活援護課	ホームレスへの自立支援における就労支援について、就労の開始により、アパートでの生活維持が可能となることから、その方が再び路上生活状態におちいることを防ぐことができると考えています。 一方、路上生活者数が減少しない理由としては、宿泊所などに入所した方がまた路上生活に戻ってしまうこと以外に、継続的に他の地域から路上生活者が流入してくることも一因であると思われます。
2	11	25	ホームレスへの自立支援	路上生活者数があまり変わらないのに、路上生活者巡回相談事業の相談件数が増えているのは、何か意味があるのか。	生活援護課	平成24年度から25年度にかけて、事業開始より一定期間を経過し、路上生活者の多くと関係を築くことができたとことによる相談件数の増加傾向が表れているためと思われる。 平成25年度から26年度にかけては、当該事業の実施体制強化のため、巡回相談員の稼働日数を週4日から週5日に増加したことによる件数増です。
3	11	25	ホームレスへの自立支援	路上生活者巡回相談事業の具体的な相談内容はどのようなものか。	生活援護課	平成26年度相談件数内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気に関する相談 631件</li> <li>・生活に関する相談 714件</li> <li>・生活保護に関する相談 306件</li> <li>・住居に関する相談 375件</li> <li>・就労に関する相談 62件</li> <li>・借金に関する相談 6件</li> <li>・年金に関する相談 20件</li> <li>・現状維持（安否確認） 667件</li> <li>・その他 639件</li> <li>合 計 3,420件</li> </ul>
4	21	46	避難ルート及び避難所の検証（新規）	防災ハンドブックについて、視覚障害者がいつでも見たい時に見ることができるような配慮はされているか。	防災危機管理課	防災ハンドブックは、平成26年3月に全戸配付したものが最新版となります。このハンドブックにつきましては、視覚障害者への配慮に行き届いた対応となっております。今後、視覚障害者が災害時の備えを安心して準備が出来るよう、例えば、防災ハンドブックの点字版の作成等について、関係課と相談しながら検討してまいります。
5	21	46	避難ルート及び避難所の検証（新規）	防災ハンドブックについて、以前視覚障害者が情報を得られるよう防災危機管理課に要望したが、「平成27年度はできない。平成28年度については検討する可能性はある。」との回答だった。一日も早く対応してほしい。	防災危機管理課	災害が発生したときや発生のおそれがあるときに、避難の判断が困難であったり、避難に時間がかかるような高齢者や視覚障害者等の障害がある方、いわゆる要配慮者への対応は、大規模な災害が発生したときに被害を受けやすく、地域の支援が必要であると認識しております。その支援内容の検証については、関係課と連携を図り、具体的な対応策を検討してまいります。 加えて、本市では、地域の防災力の強化を目指し、現在、市内11箇所の文化センター圏域毎に地域自主防災連絡会（仮称）を設置し、自治会・自主防災組織を対象に地域の特性等に合わせた防災活動を取り組む組織づくりの準備を進めております。その連絡会においても、地域の皆さんにご意見をいただき、皆さんで要配慮者を支える仕組みについて、検討してまいります。

項目	地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画事業実施計画（平成26年度）			質問内容 要望事項	担当課	回答
	ページ	番号	事業名			
6	—	—	—	市内小中学校の防災倉庫について、屋外に防災倉庫が設置されていない学校がまだ何校もあると思うが、今後屋外に防災倉庫を設置する計画があるか。	防災危機管理課	防災倉庫設置状況ですが、平成28年1月28日現在で、府中第十小学校を除く、小中学校32校に設置しています。府中第十小学校につきましては、今年度中に学校敷地内にプレハブ倉庫を設置する予定です。その他の学校の設置場所につきましては、学校の敷地内にプレハブ倉庫を設置している学校や、校舎の空き教室、校舎内に専用倉庫を設置するなど、学校によって設置場所が異なります。
7	22	50	犯罪に関する情報提供の充実	不審者情報について、確保された等その後の情報を提供してほしい。	地域安全対策課	<p>地域安全対策課では、府中警察署と連携し、防犯情報や交通安全情報などを配信しています。府中警察署より刃物を持った犯罪者の徘徊、逃走等、注意情報の配信依頼があれば対応します。26年度、27年度現在、そのような依頼や配信実績はございません。</p> <p>確保等の情報については、捜査上の秘密の関係もあることから、警察からの情報提供がある範囲で、その後の経過等を提供することは可能であると考えています。</p>
					指導室	指導室から発信している不審者情報については、各校からの情報をもとに、注意喚起を目的に配信しています。基本的には、警察へ通報済みの情報を配信しております。その後の情報について、入手可能かどうかも含め、検討してまいります。

質問内容・要望事項一覧

項目	地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画事業実施計画（平成26年度）			質問内容 要望事項	担当課	回答
	ページ	番号	事業名			
1	11	25	ホームレスへの自立支援	就労支援について、就労自立者は数名の実績があるが、それが路上生活者の減少にはあまり繋がっていないと読み取ってよいか。	生活援護課	ホームレスへの自立支援における就労支援について、就労の開始により、アパートでの生活維持が可能となることから、その方が再び路上生活状態におちいることを防ぐことができると考えています。 一方、路上生活者数が減少しない理由としては、宿泊所などに入所した方がまた路上生活に戻ってしまうこと以外に、継続的に他の地域から路上生活者が流入してくることも一因であると思われます。
2	11	25	ホームレスへの自立支援	路上生活者数があまり変わらないのに、路上生活者巡回相談事業の相談件数が増えているのは、何か意味があるのか。	生活援護課	平成24年度から25年度にかけて、事業開始より一定期間を経過し、路上生活者の多くと関係を築くことができてきたことによる相談件数の増加傾向が表れているためと思われます。 平成25年度から26年度にかけては、当該事業の実施体制強化のため、巡回相談員の稼働日数を週4日から週5日に増加したことによる件数増です。
3	11	25	ホームレスへの自立支援	路上生活者巡回相談事業の具体的な相談内容はどのようなものか。	生活援護課	平成26年度相談件数内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気に関する相談 631件</li> <li>・生活に関する相談 714件</li> <li>・生活保護に関する相談 306件</li> <li>・住居に関する相談 375件</li> <li>・就労に関する相談 62件</li> <li>・借金に関する相談 6件</li> <li>・年金に関する相談 20件</li> <li>・現状維持（安否確認） 667件</li> <li>・その他 639件</li> <li>合 計 3,420件</li> </ul>
4	21	46	避難ルート及び避難所の検証（新規）	防災ハンドブックについて、視覚障害者がいつでも見たい時に見ることができるような配慮はされているか。	防災危機管理課	防災ハンドブックは、平成26年3月に全戸配付したものが最新版となります。このハンドブックにつきましては、視覚障害者への配慮に行き届いた対応となっております。今後、視覚障害者が災害時の備えを安心して準備が出来るよう、例えば、防災ハンドブックの点字版の作成等について、関係課と相談しながら検討してまいります。
5	21	46	避難ルート及び避難所の検証（新規）	防災ハンドブックについて、以前視覚障害者が情報を得られるよう防災危機管理課に要望したが、「平成27年度はできない。平成28年度については検討する可能性はある。」との回答だった。一日も早く対応してほしい。	防災危機管理課	災害が発生したときや発生のおそれがあるときに、避難の判断が困難であったり、避難に時間がかかるような高齢者や視覚障がい者等の障がいがある方、いわゆる要配慮者への対応は、大規模な災害が発生したときに被害を受けやすく、地域の支援が必要であると認識しております。その支援内容の検証については、関係課と連携を図り、具体的な対応策を検討してまいります。加えて、本市では、地域の防災力の強化を目指し、現在、市内11箇所の文化センター圏域毎に地域自主防災連絡会（仮称）を設置し、自治会・自主防災組織を対象に地域の特性等に合わせた防災活動を取り組む組織づくりの準備を進めております。その連絡会においても、地域の皆さんにご意見をいただき、皆さんで要配慮者を支える仕組みについて、検討してまいります。

点字版の防災ハンドブックについて、費用や紙などの精査を行い、わかってきたところである。今後、財政課と調整をする必要がある。防災危機管理課としては、条件が整えば作成をしたいと考えている。  
音声での配信・配布については、今のところ考えていない。

(3/2 防災危機管理課 古田補佐に確認)

質問内容・要望事項一覧

項目	地域福祉計画・福祉のまちづくり推進計画事業実施計画（平成26年度）			質問内容 要望事項	担当課	回答
	ページ	番号	事業名			
6	—	—	—	市内小中学校の防災倉庫について、屋外に防災倉庫が設置されていない学校がまだ何校もあると思うが、今後屋外に防災倉庫を設置する計画があるか。	防災危機管理課	防災倉庫設置状況ですが、平成28年1月28日現在で、府中第十小学校を除く、小中学校32校に設置しています。府中第十小学校につきましては、今年度中に学校敷地内にプレハブ倉庫を設置する予定です。その他の学校の設置場所につきましては、学校の敷地内にプレハブ倉庫を設置している学校や、校舎の空き教室、校舎内に専用倉庫を設置するなど、学校によって設置場所が異なります。
7	22	50	犯罪に関する情報提供の充実	不審者情報について、確保された等その後の情報を提供してほしい。	地域安全対策課	地域安全対策課では、府中警察署と連携し、防犯情報や交通安全情報などを配信しています。府中警察署より刃物を持った犯罪者の徘徊、逃走等、注意情報の配信依頼があれば対応します。26年度、27年度現在、そのような依頼や配信実績はございません。 確保等の情報については、捜査上の秘密の関係もあることから、警察からの情報提供がある範囲で、その後の経過等を提供することは可能であると考えています。
					指導室	指導室から発信している不審者情報については、各校からの情報をもとに、注意喚起を目的に配信しています。基本的には、警察へ通報済みの情報を配信しております。その後の情報について、入手可能かどうかも含め、検討してまいります。

九小については、屋外の学校敷地内に防災倉庫を設置する予定で、平成28年度予算に計上している。  
（地域住民や議員から要望が多くあったため。）

校舎内の空き教室や倉庫を防災倉庫として利用している学校は、小柳小など他にも何校かあるが、他の学校について今後屋外に防災倉庫を設置するか否かの方向性については明言したくない。

(3/2 防災危機管理課 古田補佐に確認)